

# メーサイ市に災害復興支援金

## 城西グループと結城市

9月6日にタイのメーサイ市を襲った洪水被害で、城西グループと、メーサイ市と国際親善姉妹都市を結ぶ結城市は9月20日、災害復興支援金を贈りました。

メーサイ市は、メコン河の支流、サイ川でミャンマーと国境を接しています。タイでは9月6日は大雨の影響で、スコータイ、チェンライなど多くの県で洪水の発生が確認されたといいます。チェンライ県のメーサイ市でも6日午前7時から同8時にかけて猛烈な雨が降りました。このため、午前9時ごろ、サイ川が氾濫、濁流がメーサイ市を襲いました。

メーサイ市によると、午前9時から約6時間に渡ってサイ川から濁流が流れ込み、少なくとも3地区940世帯に被害、市民市場などで160店舗に被害が及んだとされ、この10年間で最大の洪水だったといいます。

城西グループでは、医療法人厚友会「城西病院」と社会福祉法人「筑西会」、公益財団法人「茨城国際親善厚



メーサイ市のサライヨン市長に城西グループと結城市、結城市議会の災害復興支援金を贈る城西病院の永島医師と黒田裕総務部長＝メーサイ市

生財団」からそれぞれ10万円、計30万円を贈りました。

メーサイ市と姉妹都市を結ぶ結城市は、市から30万円、市議会から20万円の計50万円を災害復興支援金として贈りました。

20日は城西病院の永島覚一医師がメーサイ市を訪れ、城西グループと結城市からの災害復興支援金合わせて80万円をメーサイ市のサライヨン市長に手渡しました。

平成26年9月22日



(左上) コンクリート壁が決壊したサイ川  
(左) 川のように濁流が流れる道路  
(上) 市民市場にも濁流と汚泥が押し寄せた